

## 学習指導要領における「性に関する教育」の関連内容

### 小学校

#### 〔 社 会 〕

〔第5学年〕 2 内容

(4) 我が国の情報産業や情報化した社会の様子について、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考えるようにする。

イ 情報化した社会の様子と国民生活とのかかわり

#### 〔 理 科 〕

〔第3学年〕 2 内容

〔B 生命・地球〕

(1) 昆虫と植物

身近な昆虫や植物を探したり育てたりして、成長の過程や体のつくりを調べ、それらの成長のきまりや体のつくりについての考えをもつことができるようにする。

ア 昆虫の育ち方には一定の順序があり、成虫の体は頭、胸及び腹からできていること。

イ 植物の育ち方には一定の順序があり、その体は根、茎及び葉からできていること。

〔第4学年〕 2 内容

〔B 生命・地球〕

(1) 人の体のつくりと運動

人や他の動物の体の動きを観察したり資料を活用したりして、骨や筋肉の動きを調べ、人の体のつくりと運動とのかかわりについての考えをもつことができるようにする。

ア 人の体には骨と筋肉があること。

イ 人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによること。

〔第5学年〕 2 内容

〔B 生命・地球〕

(1) 植物の発芽、成長、結実

植物を育て、植物の発芽、成長及び結実の様子を調べ、植物の発芽、成長及び結実とその条件についての考えをもつことができるようにする。

ア 植物は、種子の中の養分を基にして発芽すること。

イ 植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していること。

ウ 植物の成長には、日光や肥料などが関係していること。

エ 花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができること。

(2) 動物の誕生

魚を育てたり人の発生についての資料を活用したりして、卵の変化の様子や水中の小さな生物を調べ、動物の発生や成長についての考えをもつことができるようにする。

ア 魚には雌雄があり、生まれた卵は日がたつにつれて中の様子に変化してかえること。

イ 魚は、水中の小さな生物を食べ物にして生きていること。

ウ 人は、母体内で成長して生まれること。

〔第6学年〕 2 内容

〔B 生命・地球〕

(1) 人の体のつくりと働き

人や他の動物を観察したり資料を活用したりして、呼吸、消化、排出及び循環の働きを調べ、人や他の動物の体のつくりと働きについての考えをもつことができるようにする。

ア 体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていること。

イ 食べ物は、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかった物は排出されること。

ウ 血液は、心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいること。

エ 体内には、生命活動を維持するための様々な臓器があること。

#### 〔 生 活 〕

〔第1学年及び第2学年〕 2 内容

(2) 家庭生活を支えている家族のことや自分でできることなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活することができるようにする。

(7) 動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、

それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。

- (9) 自分自身の成長を振り返り、多くの人々の支えにより自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつとともに、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活することができるようにする。

## 〔 家 庭 〕

〔第5学年及び第6学年〕 2 内容

### A 家庭生活と家族

- (1) 自分の成長と家族について、次の事項を指導する。  
ア 自分の成長を自覚することを通して、家庭生活と家族の大切さに気付くこと。  
(2) 家庭生活と仕事について、次の事項を指導する。  
ア 家庭には自分や家族の生活を支える仕事があることが分かり自分の分担する仕事ができること。  
イ 生活時間の有効な使い方を工夫し、家族に協力すること。

## 〔 体 育 〕 保健

〔第3学年及び第4学年〕 2 内容

- (2) 体の発育・発達について理解できるようにする。  
ア 体は、年齢に伴って変化すること。また、体の発育・発達には、個人差があること。  
イ 体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わったり、初経、精通などが起こったりすること。また、異性への関心が芽生えること。  
ウ 体をよりよく発育・発達させるには、調和のとれた食事、適切な運動、休養及び睡眠が必要であること

〔第5学年及び第6学年〕 2 内容

- (1) 心の発達及び不安、悩みへの対処について理解できるようにする。  
ア 心は、いろいろな生活経験を通して、年齢に伴って発達すること。  
イ 心と体は、相互に影響し合うこと。  
ウ 不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があること。

## 〔 道 徳 〕

〔第1学年及び第2学年〕 2 内容

- 主として自分自身に関すること。  
(1) 健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。(節度・節制、自立)
- 主として他の人とのかかわりに関すること。  
(3) 友達と仲よくし、助け合う。(友情・信頼、助け合い)
- 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること。  
(1) 生きることを喜び、生命を大切にする心をもつ。(生命尊重)
- 主として集団や社会とのかかわりに関すること。  
(3) 父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つ喜びを知る。(家族愛)

〔第3学年及び第4学年〕 2 内容

- 主として他の人とのかかわりに関すること。  
(3) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。(友情・信頼、助け合い)
- 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること。  
(1) 生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする。(生命尊重)
- 主として集団や社会とのかかわりに関すること。  
(3) 父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくる。(家族愛)

〔第5学年及び第6学年〕 2 内容

- 主として他の人とのかかわりに関すること。  
(3) 互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し助け合う。(友情・信頼、助け合い)
- 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること。  
(1) 生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。(生命尊重)
- 主として集団や社会とのかかわりに関すること。  
(2) だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく公正、公平にし正義の実現に努める。

(公正・公平、正義)

(5) 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする。(家族愛)

### 〔 特別活動 〕

#### 学級活動 2 内容

〔第1学年及び第2学年〕

学級を単位として、仲良く助け合い学級生活を楽しくするとともに、日常の生活や学習に進んで取り組もうとする態度の育成に資する活動を行うこと。

〔第3学年及び第4学年〕

学級を単位として、協力し合って楽しい学級生活をつくとともに、日常の生活や学習に意欲的に取り組もうとする態度の育成に資する活動を行うこと。

〔第5学年及び第6学年〕

学級を単位として、信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくとともに、日常の生活や学習に自主的に取り組もうとする態度の向上に資する活動を行うこと。

〔共通事項〕

(2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全

カ 心身ともに健康で安全な生活態度の育成

#### 学校行事 2 内容

(3) 健康安全・体育的行事

心身の健全な発達や健康の保持増進などについての関心を高め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵(かん)養、体力の向上などに資するような活動を行うこと。

## 中学校

### 〔 理科 〕 第2分野 2 内容

(3) 動物の生活と生物の変遷

生物の体は細胞からできていることを観察を通して理解させる。また、動物などについての観察、実験を通して、動物の体のつくりと働きを理解させ、動物の生活と種類についての認識を深めるとともに、生物の変遷について理解させる。

ア 生物と細胞

(ア) 生物と細胞

イ 動物の体のつくりと働き

(ア) 生命を維持する働き

(5) 生命の連続性

身近な生物についての観察、実験を通して、生物の成長と殖え方、遺伝現象について理解させるとともに、生命の連続性について認識を深める。

ア 生物の成長と殖え方

(ア) 細胞分裂と生物の成長

(イ) 生物の殖え方

イ 遺伝の規則性と遺伝子

(ア) 遺伝の規則性と遺伝子

### 〔 保健体育 〕 保健分野 2 内容

(1) 心身の機能の発達と心の健康について理解できるようにする。

ア 身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、様々な機能が発達する時期があること。また、発育・発達の時期やその程度には、個人差があること。

イ 思春期には、内分泌の働きによって生殖にかかわる機能が成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となること。

(4) 健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。

エ 感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。

### 〔 技術・家庭 〕 家庭分野 2 内容

A 家族・家庭と子どもの成長

(1) 自分の成長と家族について、次の事項を指導する。

ア 自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考えること。

(2) 家庭と家族関係について、次の事項を指導する。

ア 家庭や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域とのかかわりについて理解すること。

イ これからの自分と家族とのかかわりに関心をもち家族関係をよりよくする方法を考えること。

## 〔 道 徳 〕 2 内容

1 主として自分自身に関すること。

(1) 望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。(望ましい生活習慣、健康、節度)

2 主として他の人とのかかわりに関すること。

(2) 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。(人間愛、思いやり)

(4) 男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する。(男女の敬愛)

(5) それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもち謙虚に他に学ぶ。(自他の尊重、謙虚、広い心)

3 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること。

(1) 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。(生命の尊重)

(3) 人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きることの喜びを見いだすように努める。(自他の弱さの克服、人間の気高さ生きる喜び)

4 主として集団や社会とのかかわりに関すること。

(2) 公德心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。

(公德心、社会連帯、よりよい社会の実現)

(3) 正義を重んじ、だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努める。

(正義、公正・公平、差別や偏見のない社会の実現)

(6) 父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く。

(家族愛)

## 〔 特別活動 〕

### 学級活動 2 内容

学級を単位として、学級や学校の生活の充実と向上、生徒が当面する諸課題への対応に資する活動を行うこと。

(2) 適応と成長及び健康安全

ア 思春期の不安や悩みとその解決

イ 自己及び他者の個性の理解と尊重

エ 男女相互の理解と協力

オ 望ましい人間関係の確立

キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成

ク 性的な発達への適応

### 学校行事

(3) 健康安全・体育的行事

心身の健全な発達や健康の保持増進などについての理解を深め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するような活動を行うこと。

## 高等学校

### 〔 公 民 〕

〔現代社会〕 2 内容

(2) 現代社会と人間としての在り方生き方

現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。

ア 青年期と自己の形成

ウ 個人の尊重と法の支配

〔倫理〕 2 内容

(3) 現代と倫理

現代に生きる人間の倫理的課題について思索を深めさせ、自己の生き方の確立を促すとともに、よりよい国家・社会を形成し、国際社会に主体的に貢献しようとする人間としての在り方生き方



について自覚を深めさせる。

ア 現代に生きる人間の倫理

## 〔理科〕

### 第6 生物基礎 2 内容

#### (1) 生物と遺伝子

生物と遺伝子について観察、実験などを通して探究し、細胞の働き及びDNAの構造と機能の概要を理解させ、生物についての共通性と多様性の視点を身に付けさせる。

ア 生物の特徴

イ 遺伝子とその働き

ウ 生物と遺伝子に関する探求活動

### 第7 生物 2 内容

#### (1) 生命現象と物質

生命現象を支える物質の働きについて観察、実験などを通して探究し、タンパク質や核酸などの物質の働きを理解させ、生命現象を分子レベルでとらえさせる。

ア 細胞と分子

ウ 遺伝情報とその発現

エ 生命現象と物質に関する探求活動

#### (2) 生殖と発生

生物の生殖や発生について観察、実験などを通して探究し、動物と植物の配偶子形成から形態形成までの仕組みを理解させる。

ア 有性生殖

イ 動物の発生

ウ 植物の発生

エ 生殖と発生に関する探求活動

## 〔保健体育〕保健 2 内容

### (1) 現代社会と健康

我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。

ア 健康の考え方

イ 健康の保持増進と疾病の予防

ウ 精神の健康

### (2) 生涯を通じる健康

生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。

ア 生涯の各段階における健康

イ 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関

ウ 様々な保健活動や対策

## 〔家庭〕

### 第2 家庭総合

#### 2 内容

#### (1) 人の一生と家族・家庭

人の一生を生涯発達の支援でとらえ、青年期の生き方を考えさせるとともに、家族・家庭の意義や家族・家庭と社会とのかかわりについて理解させ、男女が協力して家庭を築くことの重要性について認識させる。

ア 人の一生と青年期の自立

イ 家族・家庭と社会